

## 地域志向学研究 投稿規定

### 概要

「地域志向学研究」は、複数の学問分野の学際的な協働や、横断的・融合的な連携、自治体・NPO・地域団体・民間事業者等との協学を進めながら地域の課題解決に貢献し地域の創生を推進する、統合的な基礎・応用研究、教育活動や実践的な取り組みの報告を掲載する。

### 原稿の種類

原稿の種類は下表のとおりとする。

分類	主旨	査読	目安分量
原著論文	地域志向学の発展に資する学術的価値を有する、独創性、新規性、体系性を備えたもの。	あり	印刷頁最大16頁(30,000字程度)以内
総説	地域志向学に関連する問題やその解決に向けたこれまでのアプローチを、その手法の有効性評価も含めて整理し、分野全体の概要を知らしめるもの。編集委員会が依頼したものを主とする。	なし	印刷頁最大12頁(20,000字程度)以内
調査研究	独創性、新規性、体系性は必ずしも備えていないが、地域志向学に関連する有益な情報をまとめたもの。	なし	
短報	原著論文ないし調査研究の中間報告として位置づけられるものや、原著論文ないし調査研究よりも小規模であるが迅速に公表することで地域志向学の発展に寄与するもの。	なし	印刷頁最大6頁(10,000字程度)以内
実践報告	①~③に該当する具体的な活動実践、改善等に関する報告。 ①COC、COC+の教育プログラムに関する取組み ②教育機関等による社会貢献活動に関する取組み ③その他、これらに類する取組み	なし	印刷頁4~6頁(4,000~6,000字程度)

## 原稿執筆要領

1. 原著論文、総説は「原著論文・総説フォーマット」、調査研究、短報は「調査研究・短報フォーマット」、実践報告は「実践報告フォーマット」に従って作成する。
2. 原著論文、総説には本文の冒頭に 200 字以内の要旨と 5 つ以内のキーワードを記載する。
3. 見出しは第 1 レベルを「1.」第 2 レベルを「1.1.」第 3 レベルを「1.1.1.」...等とする。
4. 本文は MS Word で作成し、図および表は本文に埋め込む。カラーは使用しない。図は 300 dpi 程度の高解像度のものが望ましい。
5. 文献の引用および注は本文に現れる順に該当箇所の右肩に全角で番号を「<sup>1)</sup>」のように付け、本文の末尾にまとめて番号順に記載する。脚注は使用しない。文献の書式は以下の例を標準とするが、著者の所属学会等の書式を使用してもよい。

### 著書（和書）の場合

- 1) 黒木登志夫 (2015). iPS 細胞 不可能を可能にした細胞. 中央公論新社.

### 著書の一部（和書）の場合

- 2) 佐藤宣子 (2003). 森林所有の構造変化と地域特性. 林正紘（編）森林資源管理の社会化. 九州大学出版会, pp.124-134.

### 著書（欧文）の場合

- 3) Howard, E. W. (1965). *Garden Cities of To-Morrow*. MIT Press.

### 著書の一部（欧文）の場合

- 4) Tyshchuk, Y., Li, H., Ji, H. & Wallace, W.A. (2014). The emergence of communities and their leaders on Twitter following an extreme event. In: Missaoui, R. & Sarr, I. (eds.) *Social Network Analysis - Community Detection and Evolution*. Springer, pp.1-26.

### 雑誌論文（和文）の場合

- 5) 松田雅裕, 益川浩一 (2018). 学校と地域との連携についての学校管理職の意識. *地域志向学研究*, 2, 6-11.

### 雑誌論文（欧文）の場合

- 6) Foorman, B. & Goodman, F (2007). Primary prevention in classroom reading instruction. *Teaching Exceptional Children*, 39, 24-30.

### ウェブサイトの場合

- 7) 岐阜大学地域協学センター <http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp/ccsc/index/education> (2018 年 10 月取得)

## 投稿方法

本文（Word ファイル）およびこれを pdf に変換したファイルを，投稿申込書（Word ファイル）とともに電子メール等で下記に送付する。

送付先：

〒501-1193 岐阜市柳戸 1 - 1

岐阜大学地域協学センター内

地域志向学研究 編集委員会（担当：塚本）

E-mail: a\_tsuka@gifu-u.ac.jp

電話 058-293-3872

送付期限：平成30年11月30日（原著論文）、平成31年1月15日（その他の原稿）

## 査読

原著論文は編集委員会が指名する複数名の専門家に査読を依頼して採否を決定する。いずれの種類の手稿についても編集委員会が文章、図表や体裁等の修正を依頼することがある。

